朝鮮豆知識
10
祖国統一

朝鮮・平壌

チュチェ106(2017)

朝鮮豆知識
10
祖国統一

朝鮮・平壌
外国文出版社
チュチェ106(2017)

目　　次

１．朝鮮の統一問題はどうして起きたのですか？

一つの血筋、一つの言語、一つの文化を持って5000年の悠久の歴史を綿々と引き継いできた朝鮮民族は、1945年、アメリカの南朝鮮占領によって北と南に引き裂かれました。

それ以来、朝鮮の統一問題は世界政治の焦点となったのです。

２．朝鮮分断当時の情勢はどうでしたか？

1945年、ヨーロッパではファシスト・ドイツが敗亡し、アジアでは日本帝国主義者が起こした太平洋戦争が終わろうとしていました。

朝鮮人民革命軍とソ連軍が対日作戦を開始した８月９日の深夜、東京の大本営では御前会議が開かれ、ポツダム宣言の受諾をもって無条件降伏することを決定しました。

ところで問題となったのは、ソ連、アメリカなど連合国のどの国にまず降伏するかということでした。

当時の戦況からすれば、中国東北部と朝鮮半島

など極東の広大な地域で破竹の勢いで進撃するソ連軍にまず降伏するのが当然でした。

ところが、日本の「朝鮮軍」司令官は、８月10日早朝、大本営に米軍に降伏するとの無電を打ちました。その内容は、日本軍の無電暗号文をすでに解読し、日本軍部の企図と動きを探知していた米情報機関に即時キャッチされました。

アメリカは日本の降伏を受け入れる前提に立って、南朝鮮の占領方案を講究しました。

３．38度線による朝鮮分断は誰によって仕組まれたのですか？

元来、アメリカは日本を破れば全朝鮮をその支配下に置こうと企図していました。

しかし、朝鮮人民革命軍の総攻撃とソ連の対日参戦によってその思惑がはずれると、アメリカは朝鮮半島の半分だけでも手に入れなければとあせりました。当時米軍は、朝鮮にはほど遠い沖縄とフィリピンなどでぐずついていたのです。

1945年８月10日、トルーマンは、米陸軍省当直将校のディーン・ラスク（後に国務長官）とチャー

ルズ・ボンスティール（後に「国連軍司令官」）に、30分以内に朝鮮半島に米ソ両軍がそれぞれ日本軍の降伏を受け入れる境界線を引くよう指示しました。

二人は北緯38度線に物差しを当てて鉛筆で線を引きました。ラスクが後日明らかにしたところによると、彼らは協議の末、北緯38度線を境界線に選定しましたが、その主な理由は、ソウルと仁川（インチョン）港を米軍の管轄地域内に含めるべきだということにありました。

38度線が軍事境界線として朝鮮を分断したいきさつは以上の通りであり、結局アメリカによって戦敗国でない朝鮮が北と南に分割されるという悲劇的な事態が生じたのです。

４．米軍の南朝鮮進駐はどのように行われたのですか？

アメリカは朝鮮半島の38度線以南をその管轄下に入れることに成功しましたが、兵力と輸送手段の不足で、すぐには南朝鮮に上陸することができませんでした。

1945年８月20日、フィリピンのマニラにいた連合

国軍南西太平洋方面司令官マッカーサーは、ソウルにいた日本の「朝鮮総督」阿部信行に無電で、米軍が到着するまで南朝鮮の治安に全的に責任を持てという特別命令を下しました。

８月21日、南朝鮮進駐命令を受けた沖縄駐在米第24軍団長ジョン・ホッジの名で、米軍が南朝鮮に進駐し軍政を実施するという数万枚ものビラが飛行機でソウル市内に散布されました。

９月２日、マッカーサーは、東京湾に入った「ミズーリ」号上での日本の降伏文書調印式後、朝鮮の北緯38度線以南は米軍が占領すると改めて宣言しました。

こうして、日本の敗北およそ１カ月後の９月８日、米軍は「解放者」の名で南朝鮮に上陸したのです。

５．アメリカの南朝鮮占領目的は何ですか？

以前から朝鮮の有利な地政学的位置と豊かな天然資源に目をつけていたアメリカにとって、朝鮮の侵略と支配を果たす好機は第２次世界大戦にありました。

アメリカは日本の敗北が決定的となった1945年初頭から、日本降伏時の作戦計画を立てましたが、その最終的戦略は、日本占領下の朝鮮を

他の国より先に占領することでした。

ところが、朝鮮人民革命軍とソ連軍の破竹の進撃は、彼らの計画を水泡に帰せしめたのであり、アメリカはやむなく北緯38度線を境界線として南朝鮮なりとも占拠する方策を取ったのです。

アメリカが南朝鮮を占領した主要な目的は、南朝鮮を全朝鮮半島支配の兵站基地とし、ひいてはアジア大陸の侵略と世界の制覇を果たす軍事戦略基地に築き上げることでした。

６．アメリカの南朝鮮占領の不法性はどこにあるのですか？

アメリカは南朝鮮を占領することで、朝鮮民族の自主権を甚だしく侵害しました。

アメリカはすべての国と民族の自主権を尊重すべきだとする国際法を無視して南朝鮮を占領し、朝鮮民族を分裂させました。

アメリカによって、一つの民族として生き発展しようと願う朝鮮民族の自主的権利は無残に踏みにじられました。

朝鮮の分断と米軍の南朝鮮占領は、朝鮮問題に

関する国際諸協定を無視した不法な行為です。
第２次世界大戦中、アメリカを含む列強は、戦後の朝鮮問題について数次にわたり論議し、これと関連した数件の国際協定と宣言を採択しましたが、そのどの条項にも日本軍を武装解除するためのソ米両軍の「作戦分担線」つまり朝鮮の分轄について規定したものはありませんでした。

７．米軍に南朝鮮軍政実施の名分はあったのですか？

軍政は言うなれば占領軍の軍事行政です。つまり、戦争中に占領し、あるいは戦争の結果占領した地域で占領軍の軍事機関により政治、経済、文化などすべての分野が直接管理されるということです。
第２次世界大戦後、ドイツと日本で実施された軍政について言うならば、それらは戦勝国同士の合意により戦後処理を行うためのものでした。ところが米軍は、戦敗国でない南朝鮮に軍政を布いて、国際法と国際慣例を乱暴に踏みにじったのです。

８．朝鮮における統一的民主主義臨時政府の樹立は、どのような難関に遭遇したのですか？

解放(1945.8.15)後、北朝鮮では反帝反封建民主主義革命と新しい社会づくりが着々と進み、統一的民主主義自主独立国家建設の土台が築かれました。

しかし、民主主義統一国家の建設をめざす朝鮮人民の前途には厳しい試練が立ちはだかりました。

南朝鮮を占領したアメリカは新植民地主義の手法に従い、傀儡政権を打ち立てて南朝鮮の支配を維持しようと図りました。

アメリカは、1946年２月、米軍政諮問機関「南朝鮮民主議院」をつくり、長年アメリカで飼いならした李承晩(リスンマン)を議長の座に付け、同年12月には傀儡立法機構「南朝鮮過渡立法議院」をつくりました。そして1947年６月には、米軍政庁の看板を「南朝鮮過渡政府」なる看板と取り換えました。

９．朝鮮問題を討議するソ米共同委員会はどうして破綻したのですか？

ソ米共同委員会は、1945年12月にモスクワで開かれたソ米英３国外相会議の決定に従って、朝鮮臨時

政府の樹立問題を討議するために北朝鮮駐屯ソ連軍司令部代表と南朝鮮占領米軍代表で構成された委員会でした。

ところがアメリカは、南朝鮮の親米分子をそそのかして単独傀儡政府の樹立を策しました。

臨時政府樹立のための協議対象問題を討議する際、アメリカは民主的政党・社会団体を除外し、「南朝鮮民主議院」を土台にして臨時政府の樹立問題を協議する「協議委員会」を組織し、これに北朝鮮代表何人かを参加させ、臨時政府閣僚名簿の作成と臨時憲法制定の権限を与えるべきだと主張しました。

ソ連側はそれに反対し、1948年末までソ米両軍が朝鮮から同時に撤退し、朝鮮問題を朝鮮人民自らが解決するようにしようと提議しました。

結局アメリカは、ソ米共同委員会を破綻させ、朝鮮問題を国連に持ち込みました。

10. アメリカはなぜ朝鮮問題を国連に持ち込んだのですか？

アメリカが朝鮮の統一的民主主義臨時政府の樹立を図るソ米共同委員会の活動を破綻させて、朝鮮

問題を国連に持ち込んだのは、国連の名を借りて南朝鮮で単独選挙を強行し、傀儡政府の樹立を合法化することで米軍の南朝鮮永久占領を果たすことに目的がありました。

アメリカは国連第２回総会で、彼らの「投票機械」を動かして朝鮮問題を会議の議題に含める「決議」を採択させました。

こうして朝鮮問題は、1947年10月から国連総会第１委員会で討議されるようになりました。

11. 朝鮮問題国連上程の不法性はどこにあるのですか？

朝鮮は侵略戦争に参加した国でも、戦敗国でもありません。

朝鮮民族は過去植民地従属の下で抑圧に苦しんだ民族であり、侵略者と戦って解放を勝ち取った民族です。

朝鮮問題は外部勢力の干渉を受けるべきなんらの根拠もありません。

アメリカが朝鮮問題を国連に持ち込んだのは、国連憲章にもとる行為です。

たとえ国連で討議することになったとしても、一民族の運命問題を討議する場にその民族の代表を参加させなければならないという国連憲章の原則により、朝鮮人民の代表を当然参加させるべきでした。

ところがアメリカは、朝鮮問題の上程から始まり討議のどの過程にも朝鮮人民の代表を参加させず、朝鮮人民の意思の反映を許しませんでした。

1947年11月、アメリカはその追随国が多数を占める国連総会で、「国連臨時朝鮮委員団」なるものをつくり、その監視の下で朝鮮の「選挙」を実施し、「政府」を樹立するという「決議」を通過させました。

12.「国連臨時朝鮮委員団」はどんな機構ですか？

「国連臨時朝鮮委員団」は、アメリカがその朝鮮分裂政策を粉飾し、南朝鮮に傀儡政権を立てるために国連の名をもって作り上げたからくり人形のような機構です。

「国連臨時朝鮮委員団」への全朝鮮人民の抗議が激化するのにあわてたアメリカは、1948年２月、「国連小総会」で「国連臨時朝鮮委員団」の監視の下に、まず可能な地域で選挙を実施す

る、つまり南朝鮮で単独選挙を実施するという「決議」を採択させ、そのうえで追随国代表からなる「国連臨時朝鮮委員団」を構成し、南朝鮮に派遣しました。

南朝鮮人民は２・７救国闘争に立ち上がり、「国連臨時朝鮮委員団」に痛烈な打撃を加えました。

13. ２・７救国闘争はどんな闘いですか？

２・７救国闘争は、1948年１月８日、「国連臨時朝鮮委員団」が南朝鮮にやってきたことを契機にして始まりました。

永登浦労働者のストから始まり、２月７日、ソウル、大田、木浦、釜山、仁川など40余の都市をはじめ南朝鮮全域に拡大されたゼネストには、鉄道、逓信をはじめ各部門にわたる数百の工場、企業の労働者８万余名が参加しました。

労働者に呼応して農民も闘いに立ち上がり、青年・学生たちも同盟休校、デモなどで気勢を上げました。

２・７救国闘争は、南朝鮮の「5・10単独選挙」を破綻させるうえに大きく作用しました。

14. 「5・10単独選挙」反対闘争はどんな闘いですか？

「5・10単独選挙」反対闘争は、北と南の全朝鮮人民がアメリカの南朝鮮傀儡政府樹立の陰謀を破綻させ、国の民主的統一・独立を勝ち取るために繰り広げた大衆的な反米救国闘争でした。

北半部人民の積極的な支持声援の下100万名の南朝鮮労働者は、1948年５月８日、「単独選挙」反対救国ゼネストの火の手を上げ、デモと蜂起は南朝鮮全域に広がりました。

米軍政が縮小して発表した報道資料によれば、「5・10単独選挙」を前後した１週間に南朝鮮人民は、228カ所の「選挙事務所」を襲撃し、至る所で警官や「立候補者」を攻撃しました。

「5・10単独選挙」反対闘争は、アメリカの植民地従属化政策に抗して祖国の自主独立と統一政府の樹立をめざして闘う北と南の全朝鮮人民の団結した力を広く示威しました。

15. 北側が提示した祖国統一の基本方針はどんなものですか？

1948年３月、北朝鮮民主主義民族統一戦線（民戦）

中央委員会第25回会議では、国の統一をいかなる外部勢力の干渉も受けることなく朝鮮人民自らの手によって自主的に、民主的原則で平和的に実現すべきだとする祖国統一の基本方針が発表されました。

朝鮮の統一問題をいかなる外部勢力の干渉も受けることなく、朝鮮人民の根本的利益と意思に即して朝鮮人民自身の力によって解決することは、いかなる者も侵すことのできない民族自決の神聖な権利です。

国の統一を民主的原則で実現するということは、全朝鮮人民の自由な意思と要求に基づき、民主的な南北総選挙を実施して統一的中央政府を樹立する方法で国の統一を達成するということを意味しました。

16. ４月南北連席会議はどんな会議ですか？

1948年４月、平壌（ピョンヤン）で行われた南北連席会議には、総1000余万名を代表する北と南の56の政党・社会団体代表695名が参加し、海外同胞の代表も参加しました。

南北連席会議では、「朝鮮政治情勢についての決議書」と「全朝鮮同胞に告げる」というアピールが採択されました。

決議書とアピールには、朝鮮人民は「単独選挙」によってつくり上げられる傀儡政府を決して認めないであろうし、朝鮮人民自身の手で、民主的な原則で、真の統一政府を樹立するであろうことを厳かに宣言しました。

そして全朝鮮人民に、アメリカの侵略道具である「国連臨時朝鮮委員団」の監視の下に行われる南朝鮮「単独選挙」を阻止・破綻させるための闘いにこぞって立ち上がろうと呼びかけました。

４月南北連席会議は、朝鮮の北と南の政党・社会団体代表が初めて一堂に会し、祖国の自主的統一対策を討議した歴史的な会合でした。

17．全朝鮮的な中央政府樹立の必要性は何ですか？

1948年５月10日、南朝鮮における「単独選挙」は破綻しましたが、アメリカは「選挙」結果を捏造して南朝鮮傀儡政権をつくり上げました。

新たな情勢は、朝鮮人民に、国土の両断と民族の分裂を防ぎ、祖国の自主的統一を成就するための積極的かつ決定的な対策を立てることを要請しました。

この要請は、全朝鮮的な中央政府の樹立をもって解決できるものでした。

全朝鮮的な中央政府を立てることによってのみ、北と南の全人民の利益と意思を代表する合法的政府を持つことができ、その旗の下に全人民を結集して祖国の自主的統一闘争を強力に繰り広げていけるのです。

18．統一的中央政府の樹立問題はどのように討議・決議されたのですか？

1948年6月末から7月初めにかけて平壌では、南北朝鮮の政党・社会団体の指導者協議会が開かれました。

アメリカがでっち上げた「5・10単独選挙」によって国土の両断と民族分裂の危機がいっそう深まった時期に開かれた会議には、北と南の30余の政党・社会団体の指導者が参加しました。

会議では、当面の政治情勢を分析し、祖国統一の決定的な救国対策として、朝鮮民主主義人民共和国を即時創建するという方針が打ち出されました。

会議は次のような決議を採択しました。

１．アメリカ帝国主義が不法につくり上げた南朝鮮「国会」で南朝鮮傀儡政府がでっち上げられれば、われわれはこれを決定的に暴露排撃するであろう。

２．全朝鮮人民は、全朝鮮的な選挙を実施して朝鮮民主主義人民共和国中央政府を樹立するであろう。

３．最高人民会議と共和国政府は、南北朝鮮から外国軍隊を同時に撤退させるようにするであろう。

決議は、北と南の全人民を、全朝鮮政府を樹立するための闘いにこぞって立ち上がるよう鼓舞しました。

19．朝鮮民主主義人民共和国はどう創建されたのですか？

全朝鮮の総選挙に先立って北と南の全地域では、朝鮮民主主義人民共和国憲法草案に対する全人民的討議が進められ、つづけて最高人民会議代議員選挙の実施対策が講じられました。

中央選挙委員会が組織され、各政党・社会団体の代表で区選挙委員会と分区選挙委員会が組織されました。

こうして1948年８月、最高人民会議代議員総選挙が行われました。

自由な雰囲気の中で選挙が行われた北半部では、投票権を持つ有権者の99.97％が選挙に参加しました。

南朝鮮では過酷な弾圧とテロの下でも有権者の77.52％が代表者選挙に参加しました。

南北総選挙の勝利に基づき、最高人民会議が構成されました。1948年９月に行われた最高人民会議第１回会議では、朝鮮民主主義人民共和国の創建が宣言されました。

20．祖国統一民主主義戦線はどう結成されたのですか？

1949年６月、祖国統一民主主義戦線の結成大会が平壌で開かれました。

大会では、現情勢の下で全民族的愛国勢力の団結した力で戦争を防ぎ、国の自主的平和統一を果たすべき緊切な要請を踏まえて、祖国統一民主主義戦線を結成し、祖国の統一をめざして共同で闘う問題が討議されました。

祖国統一民主主義戦線は、政見と信教の違いにかかわりなく祖国の統一・独立と民主主義的発展をめ

ざして闘う北と南の71の政党・社会団体の連合形態として結成されました。

祖国統一民主主義戦線が結成された結果、北と南の各階層人民は、統一をめざす闘いに一層固く団結した力をもって立ち上がれるようになりました。

21．祖国統一民主主義戦線は国の平和統一をめざしてどう闘ったのですか？

祖国統一民主主義戦線は、1949年６月、アメリカと南朝鮮傀儡一味の「北進」騒動と関連して、内乱を回避して祖国を平和的に統一するための方案を打ち出し、1950年６月７日には、中央委員会拡大会議を開いて、南北朝鮮の全民主政党・社会団体と人民に送るアピールを採択しました。

アピールには次のような内容がこめられていました。

１．来たる８月５日から８日の間に全朝鮮的な南北総選挙を実施して統一的最高立法機関を創設し、８月15日の解放５周年記念日にソウルで最高立法機関会議を招集すること。

２．このために６月15日から17日に海州（ヘジュ）あるいは

ソウルで祖国の平和的統一を願う南北朝鮮諸政党・社会団体代表者協議会を招集し、ここで平和統一のための諸条件と総選挙実施の手続き、中央選挙指導委員会の創設問題を討議決定すること。……

朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会は、これに答えて「平和的祖国統一の推進に関して」という決議を採択しました。

しかし、南朝鮮の李承晩一味は、アメリカの指図とシナリオに従い、1950年６月25日、ついに北侵戦争の導火線に火を付けました。

22．アメリカはなぜ朝鮮戦争の火を付けたのですか？

アメリカは何よりも、朝鮮半島をその反共戦略及び対アジア戦略実現の前哨基地と見なし、彼らの軍事的支配領域を全朝鮮半島に拡大しようともくろみました。

米極東軍司令官マッカーサーは、「朝鮮の全地域を征服することによってわれわれは、ソビエトシベリアと南方を結ぶ唯一の補給線をさんざんに粉砕でき、…ウラジオストクとシンガポール間の全域を支配できる

であろう。その時になれば、われわれの力が及ばぬ地はどこにもなくなるであろう」と豪語しました。

1949年夏、ニューヨークの某通信は「アメリカの強硬派は朝鮮を中国攻撃の戦略的要衝と見なし、この戦争に韓国軍を投入することを考慮して軍事行動計画を作成した」と伝えました。

アメリカが朝鮮戦争の火を付けたのは、彼らの深刻な経済危機とも関連していました。

第２次世界大戦時、著しく膨張し莫大な利潤を蓄積したアメリカ経済は、1949年、深刻な経済恐慌に見舞われ、工業生産は前年比15％、独占資本の利潤は16％減少しました。こうして国内に数百万の失業大群が生まれ、深刻な社会的・政治的危機が醸し出されました。

日本の図書『朝鮮戦争』には「朝鮮戦争はアメリカが直面した経済危機の打開策となった」と指摘されています。

23．アメリカは南朝鮮の傀儡を北侵戦争へとどうそそのかしたのですか？

1949年５月、南朝鮮駐在米大使ムチョーは、南朝

鮮の国防部長官申性模（シンソンモ）と内務部長官金孝錫（キムヒョソク）を呼び出して、「あなたたちの後ろにはアメリカがいるのだから、万事われわれを信頼して、われわれの勧告と指示を忠実に実行してくれるよう望む。すべての解決は力である。この解決はひとりアメリカの力によってのみ可能であるから、当問題の解決時期をできる限り早めなければならない。したがって、あなたたちはこの情勢とわれわれの意図を十分に理解して、すべての準備に遺憾のないよう留意し、38度線以北への総進軍の時期が一日も早く到来するよう努力することを希望する」と語りました。

アメリカの使嗾によって李承晩は、1949年10月、「南北の分裂は戦争によって解決しなければならない」「北韓を占領すれば統一は実現する」と公言しました。

24. アメリカは北侵戦争をどう準備したのですか？

アメリカと李承晩傀儡一味は、北半部の武力に比べて南朝鮮傀儡軍の「10対１の優位」を確保すべく兵力の増強に努めました。

アメリカはアメリカ製の兵器をもって傀儡軍を

装備し、アメリカ式の訓練を施しました。
アメリカの指令に従い傀儡軍は38度線地域に攻撃型の陣を敷き、北侵用の一切の軍需物資を集結させました。
アメリカは傀儡軍の戦争準備態勢を点検し、実戦能力を高めるべく、1947年から38度線以北地域への局地攻撃を絶え間なく強行させ、38度線全域で行われた傀儡軍の局地的な攻撃件数は、1949年には実に2617回に達していました。
アメリカは北侵作戦計画を作成し、戦争勃発の際に取るべき特別行動に関する「NSC－68」なる戦略計画も立てました。
アメリカの図書『アメリカ現代史』は「戦争の開始で今度の戦争のように完全な準備を整えていたのは、われわれの歴史では初めてである」と評しました。

25．戦後アメリカは朝鮮問題の平和的解決をどう妨害したのですか？

朝鮮戦争（1950～1953）で惨敗し、全朝鮮支配の野望をくじかれたアメリカは、戦後、朝鮮の自主的平和統一を必死に妨害しました。

朝鮮停戦協定第４条第60項には、朝鮮問題の平和的解決を図って双方の軍司令官はそれぞれ自国政府に、停戦協定が調印され効力を発揮した後３カ月以内に代表を派遣し、１級高い政治会議を開き、朝鮮からのすべての外国軍隊の撤退と朝鮮問題の平和的解決に関する問題などを協議するよう建議することを規定しています。

政治会議の基本的な目的は、主として米軍と追随国の軍隊を南朝鮮から完全に撤退させ、外国人が朝鮮の内政に干渉しないようにし、朝鮮問題を朝鮮人自らの手で解決することにありました。

しかしアメリカは、停戦直後から政治会議の開催を破綻させるべく策動しました。

1953年８月初め、アメリカは米軍の南朝鮮永久占領と新たな朝鮮戦争の挑発を目的にして、南朝鮮傀儡政権と「相互防衛条約」を結びました。

26. 朝鮮問題に関するジュネーブ会議はどんな会議ですか？

1954年２月、ベルリンで開かれたソ米英仏４カ国外相会議では、４月26日からジュネーブで朝鮮民主

主義人民共和国をはじめ関係諸国の参加の下に、朝鮮問題を含む緊切な国際的諸問題を討議することを決定しました。

ジュネーブ会議は、朝鮮人民の要求通り朝鮮代表の参加の下に、国連の枠外で朝鮮問題を討議する最初の国際会議でした。

27．ジュネーブ会議で共和国はどんな方案を出したのですか？

ジュネーブ会議で共和国代表は、「朝鮮の民族的統一の回復と全朝鮮の自由選挙実施に関して」という方案を提起しました。

この方案には、第１に、全朝鮮住民の自由な意思表示に基づき、朝鮮に統一政府を構成する国会総選挙を実施することと、この国会総選挙を準備し、北南朝鮮間の経済及び文化的接近に対する緊急措置を取るために、北と南の代表をもって全朝鮮委員会を組織すること、その他選挙の自由な雰囲気と真の民主的性格を確保するための諸対策を立てること、第２に、選挙を外国の干渉を許さぬ自由な雰囲気の中で行うために、６カ月内に朝鮮地域から一切の外

国兵力を撤退させること、第３に、極東における平和維持に最大の関心を持つ当該国家から朝鮮の平和的発展を保障し、また、そうすることによって、朝鮮を単一独立国家として平和的に統一させる課題の速やかな解決に役立つ条件をつくることが示されていました。

28. ジュネーブ会議においてアメリカはどんな態度を取ったのですか？

アメリカは朝鮮の方案に真っ向から反対しました。

アメリカ代表ダレスは、「われわれが朝鮮に来て数十万名の犠牲を出したのに、どうして朝鮮をただで手放せようか。われわれは朝鮮から出ていかない」として米軍の撤退に反対し、国連監視下の選挙を主張しました。

29. ジュネーブ会議はなぜ破綻したのですか？

朝鮮側が出した方案とその貫徹をめざす朝鮮人民の闘いは、世界人民の支持と共鳴を呼び、会議に参加したアメリカの「同盟国」代表の中でも動揺を起こしました。

しかし、アメリカは自国の代表を交替させ、会議を破綻させようと画策しました。

アメリカと南朝鮮傀儡一味は、「国連の権威」と「国連監視下の選挙」の実施を認めないならば会議継続は不可能だと挑戦的な態度を取りました。

朝鮮の代表団は国の統一に向けた選挙の実施と関連した問題で合意が果たせない状況の下で、他の重要な問題、つまり朝鮮の平和維持に関する問題でまず合意がなされなければならないと強調し、朝鮮及び極東における平和の維持と国際的緊張状態の緩和を願うすべての人民の切実な利害関係を踏まえて、朝鮮における平和を保障する６項目の新方案を提起しました。

しかしアメリカと追随勢力は、この提案を頭から拒否し、ジュネーブ会議における朝鮮問題の討議を破綻させてしまいました。

30．ジュネーブ会議後朝鮮が打ち出した祖国統一方策はどんなものですか？

1954年10月末に開かれた朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第１期第８回会議は、祖国の平和的

統一を促す目的で、南朝鮮の国会と諸政党・社会団体、各階層の人士たち、全人民に送るアピールを採択しました。

アピールは、朝鮮人民の民族的不幸を一掃するために、北と南の連係と接触を強め、朝鮮人同士が一堂に会して祖国の統一問題を平和的に解決しようと提案しました。

そのために、南北朝鮮の各政党・社会団体及び各階層代表の連席会議、あるいは朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議と南朝鮮国会の合同会議を平壌またはソウルで1955年以内に開催することと、会議の招集に関する問題と南北朝鮮間の経済及び文化の交流、通商、航行、文通の開始に関する問題を討議するために、北と南の代表会議を1955年２月に軍事境界線上の板門店（パンムンジョム）あるいは開城（ケソン）で行うことを提起しました。

アピールは、北と南の各政党・社会団体と各階層の愛国的人士が祖国の平和的統一対策を講究するために相互の連絡と往来、接触を行い、南北朝鮮の政権当局が全朝鮮地域で彼らの自由な活動を保障することなどを指摘しました。

31. 朝鮮政府はどんな具体策を立てたのですか？

アピールの実現対策として、1954年11月、朝鮮民主主義人民共和国内務相は、南朝鮮の各階層人士が祖国の平和的統一の促進を目的にして共和国北半部地域を訪れる際、彼らの自由な活動と身辺の安全を完全に保障する準備ができていると声明しました。

軍事停戦委員会の北側代表は、会議で停戦協定第７項、第８項及び第９項の規定に従い、非軍事的な目的で双方の軍事統制地域を往来することを求める朝鮮人に、双方が合意した非武装地帯内の通路を自由に往来できるよう、軍事停戦委員会双方が特定の許可を与えることにしようとアメリカ側に提案しました。

アメリカ側の反対で北と南の朝鮮人民の相互往来が阻害された状況の下で、共和国逓信相は、文通の道なりとも開いて、一つの国土で暮らしながらも安否すら知らずにいる父母と兄弟姉妹、親戚同士が手紙のやりとりでもできるようにするために、北と南の間で逓信郵便連絡の再開を図ろうとの書簡を南朝鮮逓信部長官に送りました。

しかしこのような努力は、アメリカと南朝鮮傀儡政権によって一つとして実現しませんでした。

32. 朝鮮は平和と安全を図るためにどう努めたのですか？

朝鮮民主主義人民共和国政府は、1954年に開かれたジュネーブ会議で、停戦協定に明記されている通り、朝鮮半島からすべての外国軍隊を撤退させ、平和と平和統一を達成するための具体的な方案を出し、会議が決裂する間際までも最小限度の原則的合意を引き出すべく最善を尽くしました。

ジュネーブ会議がアメリカの妨害で破綻した後、朝鮮は1955年３月の「朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議宣言」、1956年の朝鮮労働党第３回大会宣言と共和国政府声明、1958年２月の共和国政府声明などを通じて、北と南が相手側に対する武力行使を行わず、朝鮮問題を平和的に解決することを内外に宣言し、北と南の軍隊を10万以下に縮減し、朝鮮からすべての外国軍隊を速やかに撤収させようとの提案を行いました。

朝鮮は、1956年８月まで人民軍を８万名縮減しました。

中国政府は朝鮮政府の要請に従い、1958年10月まで中国人民志願軍を全部撤収させました。

33．朝鮮は民族の団結を遂げるためにどう努めたのですか？

共和国政府は民族のきずなをつなぎ、民族の団結を実現する目的で、北と南の多面的な合作と交流を実現すべく忍耐強い努力を傾けました。

ジュネーブ会議と1954年10月に行われた最高人民会議第１期第８回会議、1956年朝鮮労働党第３回大会などさまざまの契機に、北と南の全般的分野で広範な合作と交流を実現し、南朝鮮の被災民と失業者、孤児たちを救済するという同胞愛的提案を重ねて行いました。

しかし、これらすべての提案と人道的な措置は、アメリカと李承晩傀儡一味の妨害によってどれ一つとして実現しませんでした。

34．４月人民蜂起はどんな闘いですか？

1960年４月、南朝鮮の青年・学生と人民は、アメリカ帝国主義者と李承晩傀儡一味に抗し、自由と解放、新しい政治と新しい生活を求めて大衆的な反米・反ファッショ抗争に立ち上がりました。

４月19日、ソウルの大学生をはじめとする蜂起者

たちは、「腐った政治出ていけ！」「李承晩政権打倒せよ！」などのスローガンを掲げ、軍警の弾圧をはねのけて傀儡「中央庁」へと突進し、「反共会館」「ソウル新聞社」「自由党本部」を焼き払いました。同時に、アメリカの植民地略奪機関である南朝鮮駐在アメリカ経済調整官室、アメリカ経済協力処事務室を投石破壊しました。

蜂起はソウル、釜山、仁川、光州（クァンジュ）、水原（スウォン）、全州（チョンジュ）、大田、忠州（チュンジュ）など南朝鮮のほとんどすべての都市と地方に広がり、至る所で傀儡統治機構が破壊されました。

こうして４月26日、南朝鮮人民はついに李承晩傀儡政権を崩壊させました。

４月人民蜂起後、南朝鮮人民の闘いは「行こう北へ、来たれ南に、会おう板門店で！」というスローガンの下に、外部勢力を排斥し、祖国を自主的に統一する闘いへと発展しました。

35. 南北連邦制提案はどうしてなされたのですか？

1960年４月の人民蜂起後、南朝鮮人民の祖国統一気運が急速に高まった新たな情勢は、民族の分裂に

終止符を打ち、国の統一を促す新しい対策を講究することを求めました。

この新しい状況の要請を踏まえて、金日成(キムイルソン)主席は1960年８月の祖国解放15周年慶祝大会における演説で、南朝鮮当局がまだ自由な南北総選挙を受け入れることができないというならば、国の自主的平和統一を早めるための過渡的な対策として、南北連邦制を実施しようとの提案を行いました。

この連邦制方案に励まされた南朝鮮人民は、民族の分裂を終わらせ、祖国の統一を実現するための愛国闘争を広範に展開しました。こうしてアメリカ帝国主義の植民地支配は深刻な危機にさらされました。

36．5・16クーデターはどんな事件ですか？

1960年４月の人民蜂起後、日増しに高まる南朝鮮人民の自主的平和統一と反ファッショ民主化をめざす闘いは、アメリカ帝国主義の植民地支配を袋小路に追い込みました。

狼狽したアメリカはクーデター陰謀を企て、米中央情報局が具体的な行動指令と必要な資金を提供しました。

1961年５月16日、朴正熙を頭とする傀儡軍内のファシスト一味は、クーデターを起こして南朝鮮全域に非常戒厳令を布き、引き続き傀儡国会を解散してすべての政党、社会団体、ひいては傀儡機関の活動を完全に禁じました。

クーデターの結果、南朝鮮は最も残忍なファッショ支配下に置かれることになりました。

朴正熙一味は、特に、統一を主張する愛国者など人民を過酷に弾圧、虐殺し、些細な統一論議や統一運動も悪名高い「反共法」をもって野獣さながらに弾圧しました。

こうして祖国統一をめざして闘う朝鮮人民の前には新たな障害が横たわることになりました。

37. 1960年代に北と南の対決状態が続いたのはなぜですか？

新たな厳しい環境の中でも共和国政府は、祖国統一の努力を片時も中断しませんでした。

金日成主席は、1962年10月、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第３期第１回会議で、南朝鮮から米軍を撤退させ、北と南が相手側を攻撃しないとい

う平和協定を結び、北と南の軍隊をそれぞれ10万名以下に縮減することについて、そして北と南の間に経済・文化の交流と協力の実現をめざす対策的諸問題を提示しました。

この祖国統一方案の実現に向けて共和国政府は積極的に動きました。

しかし、アメリカ帝国主義と朴正熙傀儡一味は、共和国の平和提案に対し、反共対決政策と戦争政策の強化をもって応えました。

こうして、1960年代、北と南の間には些細な接触も実現されず、いつまでも対決状態が続いたのです。

38. 1970年代に入って情勢はどう変化したのですか？

1970年代に入り、アメリカは、日増しに深刻化する政治的・経済的危機と度重なる軍事的敗北によって抜きさしならぬ窮地に陥りました。

そんな時、ホワイトハウス入りしたニクソンは、「力の政策」から「対話」と「共存」、「協商」への政策転換を標榜し、大国とは関係の改善を図

り、分裂国家に対しては現状維持政策を実施する「平和戦略」を打ち出しました。

この「平和戦略」に基づいてアメリカは、長年の中国封鎖政策を放棄し、中華人民共和国との関係改善に乗り出しました。

ところで、ニクソンの中国訪問と中米の関係改善は南朝鮮傀儡政権にとっては大きな衝撃でした。

朴正煕は、アメリカの保護の下で数十年間延命してきた蒋介石が一朝にして弊履のごとく捨て去られる哀れな運命に陥ったのを見て、自分もいつそんな運命を強要されるのかとおののき恐れました。

39．幅広い協商方針はどうして提示されたのですか？

変化する内外の情勢を科学的に分析した金日成主席は、1971年８月６日の演説で、祖国統一の新局面を開くために南朝鮮の与党民主共和党を含むすべての政党、社会団体及び個別的人士といつでも接触する用意があるという幅広い協商方針を打ち出しました。

この協商方針は、大勢の流れと祖国統一への全民

族の悲願を最も正しく反映したもので、内外の一致した支持と共感を呼び起こしました。南朝鮮の各階層人民はもとより、野党も北との協商を主張して傀儡政権に圧力を加えました。

40. 北南対話はどのようにして開かれたのですか？

北と南の幅広い協商を要求する内外の主張が高まるや、南朝鮮傀儡政権はいやいやながら北南赤十字会談の形式にせよ北の対話提案に応じざるを得なくなりました。

こうして、1971年９月から北と南の間に対話の扉が開かれ、1972年８月からは北と南に離散した家族と親戚の不幸と苦痛を癒すための赤十字本会談が開かれました。

そんな状況の中で、北南間の高位級政治会談が開かれることになったのです。

41. 祖国統一の３大原則はどのようにして生まれたのですか？

金日成主席は、1972年５月、高位級政治会談のために平壌を訪れた南側代表に接見し、国の統一に向

けた共同の偉業を遂行する上で北と南の双方が守るべき基本的な原則として、自主、平和統一、民族大団結の祖国統一３大原則を示しました。

南側代表はそれに全的な同意を表明し、南朝鮮の執権者も、北南高位級政治会談に参加するためにソウルを訪れた北側代表に、祖国統一３大原則の全面的な支持を表明しました。

こうして1972年７月４日、自主、平和統一、民族大団結の祖国統一３大原則を基本的内容とする７・４共同声明が公表される運びとなりました。

42. 祖国の統一を自主的に行うということはどういう意味ですか？

祖国の統一を自主的に行うということは、国の統一問題を外部勢力に依拠せず、朝鮮民族自身の力で解決するということです。

統一問題を自主的原則に基づいて解決するためには、まず、南朝鮮から米軍を撤退させ、朝鮮の内政に対する外部勢力の干渉を排除しなければなりません。米軍の南朝鮮占領は朝鮮統一の基本的障害です。

統一問題を自主的原則に基づいて解決するため

には、また、日本軍国主義の再侵略策動を排撃しなければなりません。

日本軍国主義者は、アメリカに便乗して南朝鮮に再侵略の魔手を伸ばし、朝鮮の統一を妨害しています。

統一問題を自主的原則に従って解決するためには、さらに、南朝鮮傀儡一味の事大売国的外部勢力依存政策を徹底的に排撃しなければなりません。

外部勢力の侵略と干渉は事大主義的売国奴を道案内として行われるのです。

43. 祖国の統一を平和的に行うということはどういう意味ですか？

祖国の統一を平和的に行うということは、統一問題を解決する上で同族間の武力行使を避け、平和と和睦を図るということです。

統一問題を平和的原則に従って解決するためには、まず、北と南の間の軍備競争を中止し、軍隊を縮減しなければなりません。

軍備競争は武力衝突の要因であり、軍備競争の行き着く先は戦争です。戦争を防ぎ、国の統一を平和

的に実現するためには、戦争手段自体を除かなければならないのです。

統一問題を平和的原則に基づいて解決するためには、また、統一途上に持ち上がる一切の問題を、対話と協商の方法で解決していかなければなりません。

統一問題を対話と協商を通じて平和的に解決する道だけが、統一問題をそれ自体の性格と全同胞の利益に即して最もスムーズに解決しうる唯一の正しい道なのです。

44．祖国統一運動で民族大団結の原則を堅持するということはどういう意味ですか？

祖国統一運動で民族大団結の原則を堅持するということは、思想と体制の違いを越えて祖国の統一を願う北と南のすべての愛国勢力が団結するということです。

統一問題を民族大団結の原則に従って解決するためには、何よりも、北と南が互いに自己の思想と体制を相手側に強要すべきではありません。朝鮮の統一は決してどちらか一方の思想と体制を清算し、他の一方の思想と体制をそこへ延長する問

題ではなく、分断された領土と民族を再び結びつける問題です。

統一問題を民族大団結の原則で解決するためには、さらに南朝鮮におけるファッショ統治を一掃し、社会の民主化を実現しなければなりません。南朝鮮の歴代独裁者は、人民の統一論議の自由を抑制して統一運動を過酷に弾圧し、統一の主張者たちに暴圧を加えてきました。

45. 祖国統一３大原則はどんな意義を持つのですか？

７・４共同声明の発表は、祖国統一３大原則を北と南の共通の統一綱領として世界に宣言した重大な出来事でした。

国連総会第28回会議と第30回会議、非同盟諸国首脳会議と外相会議では、朝鮮の祖国統一３大原則を支持する決議と文書が採択されました。

祖国統一３大原則は、北と南が統一政策を作成し実行する上で必ず守るべき基本的な指針であり、民族共通の統一綱領です。

自主の原則は国家と民族の運命に関わる根本的

な問題であり、民族統一運動の出発点です。

平和統一の原則は、全朝鮮同胞と世界平和愛好人民の一致した念願に即して統一問題を解決するための根本的な方途です。

民族大団結の原則は、祖国統一の旗の下に全民族を一つに団結させる行動の指針です。

金日成主席が自主、平和統一、民族大団結の祖国統一３大原則を提示し、それを民族共通の統一綱領とならせるよう導いたのは、朝鮮民族の統一運動史にとこしえに輝く不滅の功績です。

46.「二つの朝鮮」政策は誰が考案したのですか？

７・４共同声明の発表により、朝鮮では全民族的な統一気運が急速に盛り上がりました。北半部の人民は言うまでもなく、南半部の青年・学生や民主人士をはじめ各階層の人民も祖国統一の闘いに果敢に立ち上がりました。

祖国の統一をめざす全朝鮮人民の高揚した闘争気勢に驚いたアメリカと南朝鮮傀儡一味は、朝鮮の統一を妨げ分裂を永久化するべく、「二つの朝鮮」政策を持ち出しました。

アメリカの使嗾を受けた朴正熙傀儡一味は、1973年に「6・23特別声明」なるものを発表し、朝鮮の分断永久化政策を公然と世界に向けて宣言しました。

47. 祖国統一5大方針はどうして提示されたのですか?

アメリカ帝国主義と朴正熙傀儡一味の分裂策動と反民族的な売国行為によって朝鮮統一の前途には厳しい難関が生じました。こうした情勢を見極めた金日成主席は、1973年6月23日、国の平和統一偉業に新たな突破口を開くべく祖国統一5大方針を提示しました。

祖国統一5大方針は、北と南の軍事的対峙状態の解消と緊張状態の緩和、北と南の多面的な合作と交流の実現、北と南の各階層人民と各政党・社会団体代表をもって構成される大民族会議の招集、高麗(コリョ)連邦共和国の単一国号による南北連邦制の実施、単一の高麗連邦共和国国号による国連加入などを内容としています。

祖国統一5大方針は内外の分裂主義者に決定的

な打撃を与え、統一を願う朝鮮人民に新たな確信を抱かせ、明るい展望を開きました。

48. コンクリート障壁はどうして構築されたのですか？

南朝鮮傀儡一味は、1977年から膨大な資材と労力を投入して北と南を物理的に遮断する障壁の構築に乗り出しました。

こうして朝鮮半島には、軍事境界線に沿って総延長距離240余㎞のコンクリート障壁が築かれることになりました。

高さ５～８ｍ、底部の幅10～19ｍ、上部の幅３～７ｍに達するこの障壁によって122村と８郡が分かたれ、３路線の鉄道と４大河、220余の大小道路が完全に遮断されました。

川は流れを止め、北と南を行き来した獣も往来の自由を奪われ、自然生態環境も甚だしく破壊されました。

世界には大小の軍事的構築物が多々ありますが、朝鮮半島のコンクリート障壁のように国土を両断し、民族間の対決を鼓吹する障壁は世界のどこにもありません。

49．共和国は祖国統一５大方針を貫くためにどう努力したのですか？

朝鮮民主主義人民共和国は、朴正熙傀儡一味の極悪非道な反民族的売国行為が続く厳しい事態の下でも、北と南の対話を成功させるために真摯に努力しました。

共和国の忍耐強い努力によって、1979年初め、民族統一準備委員会を発足させるための北と南の連絡代表接触が行われ、1980年初めには北南総理接触を図る実務代表の対話が行われました。

そんな時に南朝鮮では独裁者朴正熙が腹心に射殺され、全斗煥（チョンドゥファン）独裁政権が出現しました。

アメリカの庇護の下で全斗煥傀儡一味が強行した光州虐殺蛮行と、共和国に対する新たな挑発策動により、北南関係は再び凍結してしまいました。

50．高麗民主連邦共和国の創立方案はどうして提示されたのですか？

金日成主席は、1980年10月、朝鮮労働党第６回大会で行った中央委員会の活動総括報告で、北と南が連合して一つの連邦国家を創設する方法で祖国を

統一するという新たな統一方案を提示しました。

主席は北と南がともに相手側に現存する思想と体制をそのまま容認する基礎の上で、双方が同等に参加する民族統一政府を組織し、その下で北と南が同等の権限と義務を持ち、それぞれ地域自治制を実施する連邦共和国を創立して祖国を統一する問題を全面的に明示し、高麗民主連邦共和国が実施すべき10大施政方針を提示しました。

51. 高麗民主連邦共和国創立方案の内容はどんなものですか？

高麗民主連邦共和国創立方案は、北と南がともに相手側に現存する思想と体制をそのままにして、双方が連合し一つの連邦国家を形成する方法で国と民族の統一を実現することをその本質としています。

連邦形式の統一国家では、双方の同数の代表と適当数の海外同胞代表で最高民族連邦会議を構成し、そこに連邦常設委員会を組織して北と南の地域政府の指導にあたらせ、連邦国家の全般的な活動を管轄させます。この連邦形式の統一国家は、朝鮮民族が相異なる二つの体制の上に朝鮮の全領土と全民

族を包み込んだ地域自治制を実施する形式をもって構成される統一国家です。

最高民族連邦会議とその常任機構である連邦常設委員会は連邦国家の統一政府として、全民族の団結、合作、統一の念願にかなうよう、公正な原則に立って政治、国防、対外関係など、国家と民族の全般的利益に関わる共通の問題を討議、決定し、国家と民族の統一的発展を図る活動を推し進め、各分野にわたって北と南の団結と合作を実現します。連邦国家の統一政府は、北と南に現存する社会制度と行政組織、各党、各派、各階層の意思を尊重し、ある一方が他方に自己の意思を強要できないようにします。

北と南の地域政府は、連邦政府の指導の下に、全民族の根本的利益と要求に合致する範囲内で独自の政策を実施し、すべての分野で双方の差をせばめ、国家と民族の統一的発展を遂げるために努力します。

連邦国家の国号は、すでに世界的に広く知られた朝鮮民族の最初の統一国家高麗の名称を生かし、民主主義を志向する北と南の共通の政治理念を盛り込んで高麗民主連邦共和国とします。

高麗民主連邦共和国は、いかなる政治的・軍事的

同盟やブロックにも加担しない中立国とならなければなりません。

52．高麗民主連邦共和国の特性はどんなものですか？

高麗民主連邦共和国は、連邦制国家という類型に属してはいますが、従来の歴史に知られた連邦国家とは創設の目的や国家の形態と構造、法的基礎などにおいて一連の特性を持っています。

高麗民主連邦共和国は他の連邦制とは異なり、単一民族によって成り立ち、相異なる社会体制に基づいて形成され、一つの統一国家の枠内で一つの民族、二つの地域自治政府として構成されることになります。

それゆえに連邦国家の構成原則と、統一政府と地域自治政府の権限分配においても特性を有します。

高麗民主連邦共和国の創立方案が示された結果、同じ民族が二つの地域に分かたれて思想と理念、社会政治体制を異にしている条件の下でも、連邦国家の構成は十分に可能であるという確実な見通しが開かれたのです。

53．高麗民主連邦共和国の10大施政方針の基本的な内容はどんなものですか？

高麗民主連邦共和国の施政方針の骨子は第１に、国家活動のすべての分野で自主性を堅持し、自主的な政策を実施し、第２に、国の全地域と社会の各分野にわたって民主主義を実施し、民族の大団結を図り、第３に、北と南の経済合作と交流を実施し、民族経済の自立的発展を保障し、第４に、科学・文化・教育分野において北と南の交流と協力を実現し、国の科学技術と民族文化・芸術、民族教育を統一的に発展させ、第５に、北と南の断絶された交通、逓信を連結し、全国的範囲で交通及び逓信手段の自由な利用を保障し、第６に、労働者、農民をはじめ勤労者大衆と全人民の生活安定を図り、その福祉を系統的に増進させ、第７に、北と南の軍事的対峙状態を解消し、民族連合軍を組織し、外国の侵略から民族を防衛し、第８に、すべての海外朝鮮同胞の民族的権利と利益を守り、第９に、北と南が統一以前に外国と結んだ対外関係を正しく処理し、両地域政府の対外活動を統一的に調整し、第10に、全民族を代表する統一国家として世界のすべての国との友好関係を発展させ、平和愛好的な対外政策を実施することです。

54. 高麗民主連邦共和国創立準備委員会の組織提案はどのようにして出されたのですか？

1980年11月、平壌では、高麗民主連邦共和国の創立方案を実現するための諸政党・社会団体連席会議が開かれ、ここで高麗民主連邦共和国創立準備委員会の組織問題が討議されました。

連席会議は、これと関連した諸般の問題を協議するために、北と南の諸政党・社会団体代表と海外民族団体代表の予備会議を近い時期に、平壌かソウルまたは第三国で開くことを提起し、高麗民主連邦共和国創立方案を速やかに実現する対策的提案をこめた手紙を総5300余名の南朝鮮政治家と各界の人士、それに海外の各界同胞に発送しました。

ところが、南朝鮮軍事ファシスト一味は、手紙を受け取った南朝鮮の対象者のほとんどすべてを公職から追放し、各種の罪名を着せて逮捕、投獄する挙に出ました。

55. ３者会談提案はどのようにして出されたのですか？

1984年１月、朝鮮民主主義人民共和国中央人民

委員会、最高人民会議常設会議連合会議は、「朝鮮問題の平和的解決を図る新しい措置を取ることについて」を討議し、共和国とアメリカとの会談に、朝鮮における緊張状態激化に責任がある南朝鮮当局も参加させ、３者会談を行うことを提案しました。

その直後に開かれた朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第７期第３回会議は「朝鮮において平和の保証をもたらし、祖国の自主的平和統一を促進することについて」を審議して、３者会談を呼びかけた連合会議の提案を全面的に支持し、朝鮮とアジア及び世界の平和を守るために、南朝鮮からの米軍と核兵器の撤去を要求する国際的運動を強力に繰り広げることを呼びかけるアピールを世界各国の国会と政府に送ることを決定しました。

３者会談提案は、戦争か平和かの岐路にある朝鮮半島の厳しい事態を、あくまでも対話と協商の方法で解決しようとする共和国の真摯な努力の表現であり、世界の平和偉業に尽くそうと努める切実な念願の表われでした。

56．共和国は南朝鮮水害被災民をどう支援したのですか？

1984年８月末～９月初めの集中豪雨で南朝鮮の各地域で多くの人民が家財を失くして路頭に迷いました。

このことを知った共和国政府は、彼ら被災民を救援すべく、５万石の米、50万ｍの織物、10万ｔのセメント、多くの医薬品を送る緊急措置を講じました。

この同胞愛的措置を機に、北と南には民族的和解と団結の雰囲気が漂い、全民族的な範囲で祖国統一の気運が盛り上がりました。

57．北南対話再開の経緯はどのようなものですか？

共和国政府は情勢の動きに即して北南関係を改善すべく、救護物資の輸送が続いていた1984年10月１日、赤十字会談と経済会談など諸般の北南対話の開催を南側に提案しました。

こうして、11月から北南経済会談が５回にわたり行われました。これらの会談で北側は北と南の経済的合作と交流を広範に行おうと強調し、特に北南関係の大々的な発展を志向して副総理級を委員長と

する北南経済協力共同委員会を発足させようと提案しました。

南側は内外の世論を恐れて北側の提案にいったん同意しましたが、合意書の作成段階になって、あれこれの口実を設け、最終合意を破綻させました。

58. 北と南の最初の故郷訪問団交流はどう実現したのですか？

北南経済会談とは別途に、1985年５月から数度にわたり北南赤十字会談が行われました。

平壌とソウルで代わる代わる行われた北南赤十字会談で、北側は、離散家族・親戚の不幸と苦痛を一日も早く癒すために北と南に離散した家族・親戚の自由往来を実施しようとの画期的な提案を行い、その実現のために積極的な努力を続けました。

こうして、北南赤十字会談での合意が成立し、祖国解放40周年を機に祖国の解放後初めて北と南の赤十字芸術団と故郷訪問団の交流が実現しました。

59. 北南不可侵問題はどう提起されたのですか？

1985年４月の朝鮮民主主義人民共和国最高人民

会議第７期第４回会議は、北と南が相互不可侵を約束する共同宣言の発表問題を討議するための北南国会会談の開催問題を討議し、その具体的な内容を盛り込んだ書簡を南朝鮮国会に送りました。

こうして北南国会会談の予備接触が行われましたが、南側はここで、不可侵共同宣言の発表は国会の機能外の問題だとして拒否し、それよりも「統一憲法」制定機構の創設問題を討議しようと言い張り、会談の進展を妨げました。

そんな中で、1986年2月１日から米軍と傀儡軍20余万の大兵力による「チーム・スピリット86」合同軍事演習が強行されて、朝鮮半島の情勢が緊張し、ここに多岐にわたる会談は一切中断されてしまいました。

60. 軍事当局者会談が実現しなかった理由は何ですか？

1986年６月、共和国は南朝鮮駐屯米軍司令官を含む、北と南の軍事当局者会談の開催を提案しました。しかし、南側はその提案を受け入れませんでした。

アメリカと傀儡政権の、対話と平和に対する否定

的立場により、北と南の関係は一層先鋭化し、戦争の危険はさらに増大しました。

61．北南高位級政治・軍事会談提案はどのようにして出されたのですか？

1986年12月、金日成主席は最高人民会議第８期第１回会議において、北南高位級政治・軍事会談の開催を提議しました。

1987年１月、共和国はこの問題に関する具体的な提案をこめた手紙を南朝鮮当局に送りました。

共和国は、北南関係が凍りつき、祖国統一問題の解決が阻まれている基本的要因が、北と南の先鋭な政治的対決と軍事的対峙状態にあると認め、この問題に実権を持つ北と南の高位級政治・軍事関係者が会談を行い、双方が誹謗中傷を中止した上で多面的な合作と交流を進めることで政治的な対決を解消し、ひいては兵力を縮減して軍備競争を中止し、非武装地帯を平和地帯に変え、大規模の軍事演習を中止し、中立国監視委員会の権能を高め、中立国監視軍を組織することなど、軍事的対峙状態の解消問題を討議し、解決することを提案しました。

ところが、南朝鮮傀儡一味は、共和国の北南高位級政治・軍事会談の提案に一切反応を見せず、あげくの果てに、同年５月中旬、対話と平和統一を全面否定する「自由民主主義体制下の統一」を主張し始めました。

62．段階的兵力縮減提案はどんな内容からなっていたのですか？

1987年７月、共和国政府は声明を発表し、大規模の段階的兵力縮減提案を行いました。

ここでは、北と南の兵力を1988年から1991年まで３段階をかけて縮小し、1992年からは10万以下の兵力を維持し、北と南の兵力の段階的縮小に見合わせて南朝鮮駐屯米軍も段階的に撤収し、北と南の兵力がそれぞれ10万名に縮小されれば、米軍は南朝鮮から核兵器を含むすべての兵力を撤収し、軍事基地を撤廃することなどを内容としていました。

提案にはさらに、北と南における兵力の縮小状況と米軍の撤収状況を互いに通知し、世界に公表すること、兵力の縮小状況及び撤収状況を段階別に検証すること、軍事境界線非武装地帯を平和地帯に変え、

ここへ中立国監視軍を駐屯させること、そして以上すべての問題を討議するための多国的な軍縮協商を行うことなどが盛り込まれていました。

共和国政府は、兵力縮小の突破口を開くために、1987年末まで一方的に朝鮮人民軍を10万名縮小することを宣言しました。

63．平和保障４原則と包括的な平和方案はどうして出されたのですか？

1988年11月に行われた朝鮮民主主義人民共和国中央人民委員会、最高人民会議常設会議、政務院連合会議は、朝鮮半島における平和保障問題の緊急性と国の平和問題解決の現実的可能性を分析・評価し、そのうえで民族共通の平和綱領としての平和保障４原則と包括的な平和方案を提起しました。

平和保障４原則は、朝鮮半島の平和は国の統一を志向するものでなければならず、外国兵力の撤収をもって支えられなければならず、北と南の軍縮によって保障されなければならず、緊張の激化に責任がある当事者の対話を通じて実現しなければならないという内容からなっています。

包括的な平和方案は、朝鮮半島の強固な平和を実現するための段階的な米軍兵力の撤収と北南間の軍縮方案、北と南の当面の政治的・軍事的対決状態を緩和するための方案でした。

64. 北南協商会議方針はどうして出されたのですか？

金日成主席は、1990年の新年の辞で、北南間のコンクリート障壁を打ちこわして自由往来と全面開放を実現し、そのために北と南の最高位級の参加する当局と各政党の首脳の協商会議を招集するという新たな方針を提起しました。

協商会議開催方案の実現を図り、共和国は政府・政党代表の連合会議を開き、ここで南側へ送る手紙を採択しました。

ところが南朝鮮当局は、「コンクリート障壁などはない」と強弁して共和国の提案を拒否しました。

共和国は、南朝鮮当局が軍事境界線南側地域一帯にコンクリート障壁がないと言い張る実情にあって、障壁の有無を現地確認するための労働者・農民・青年・学生見学団を送ってくれることを要望し、

障壁の写真と障壁を収録したフィルムを提供すると申し送りました。

しかし南側はこれを「政治宣伝」だとしてはねつけ、それを受け取ろうとさえしませんでした。

65. 祖国統一５方針はどんな方針ですか？

金日成主席は1990年５月、最高人民会議第９期第１回会議で行った施政演説で、祖国統一５方針を提示しました。

祖国統一５方針の基本的な内容は、第１に、朝鮮半島の緊張を緩和し、祖国統一のための平和的環境をつくりだし、第２に、分断の障壁を打ちこわし、北南間の自由往来と全面開放を実現し、第３に、祖国の自主的平和統一に有利な国際的環境をつくりだす原則に立って対外関係を発展させ、第４に、祖国統一のための対話を進展させ、第５に、祖国統一のための全民族的な統一戦線を結成することです。

66. 共和国が行った新軍縮提案はどんなものですか？

朝鮮民主主義人民共和国中央人民委員会と最高

人民会議常設会議、政務院は、1990年５月、連合会議を開き、朝鮮半島の平和を図る新軍縮提案を発表しました。

新軍縮提案は、1988年11月に提示した包括的な平和方案を現実的条件に即して具体化したもので、北南の信頼醸成、北南兵力の縮減、外国兵力の撤収、軍縮とその後の平和保障など四つの部分からなっています。

北南の信頼醸成には、軍事訓練と軍事演習の制限、軍事境界線非武装地帯の平和地帯化、偶発的な衝突とその拡大を防ぐための安全措置などが予見されており、北南兵力の縮減には、北と南の兵力を３～４年以内に３段階にかけてそれぞれ縮小する問題、軍縮状況を相互が通報し、検証する問題などがこめられています。

外国兵力の撤収には、北と南が朝鮮半島を非核地帯とする問題と、朝鮮半島から一切の外国軍隊を撤収させるために共同で努力する問題が示されており、軍縮とその後の平和保障には、非武装地帯内に中立国監視軍を配備する問題、北南軍事共同委員会の構成・運営問題、北と南が協商を通じて不可侵宣

言を採択し、大幅な軍縮で合意を見るという内容が含まれています。

67．祖国統一賞はどんな賞ですか？

祖国統一賞は、祖国統一のために大きな勲功を立てた人を叙勲する栄誉賞です。

朝鮮解放45周年を迎え、祖国の自主的平和統一をめざす闘いで特出した勲功を立てた北と南、海外の同胞を国家的に表彰するために、1990年７月に制定されました。

祖国統一賞は、国の統一をめざしてねばり強く闘い、祖国統一の聖なる闘いで比類のない献身性と犠牲的精神を発揮し、祖国と人民に大きな偉勲を立てた愛国者と民主人士に授与されます。

68．第１次汎民族大会はいつ行われたのですか？

1990年８月15日、軍事境界線上の板門店では祖国の平和と統一を志向する第１次汎民族大会が盛大に挙行されました。

大会の決議に従って、その年の11月に祖国統一汎民族連合（汎民連）が結成されました。1992年８月

には、祖国統一汎民族青年学生連合（汎青学連）が結成されました。

69．汎民連はどんな組織ですか？

祖国統一汎民族連合（汎民連）は、祖国の統一をめざして闘う北と南、海外同胞の愛国的な全民族的統一運動連合体です。

汎民連は全民族の大団結と祖国の自主的平和統一を目的とし、北と南が合意して世界に宣言した自主、平和統一、民族大団結の祖国統一３大原則を基本的な指針としています。

汎民連は北と南、海外の愛国的な政党、団体及び個別的人士で構成し、民主主義の原則及び北と南、海外３者の合意制によって組織・運営され、これに参加した政党、団体は同等の資格と権利、義務を持って祖国の統一運動で共同行動を取ります。

汎民連には、最高議決機構である祖国統一汎民族大会と、これに代わる北と南、海外の中央委員連席会議、それに汎民連共同議長団、共同事務局などがあります。汎民連は北と南、海外にそれぞれ地域本部を設けており、海外本部の傘下には日本、アメリ

カ、カナダ、ヨーロッパ、独立国家共同体、中国、オーストラリアなどに地域支部を設けています。

70．汎青学連はどんな組織ですか？

祖国統一汎民族青年学生連合（汎青学連）は、祖国の自主的平和統一を願う北と南、海外の同胞青年・学生とその組織が参加している全民族的な青年・学生連合体です。

汎青学連は、中央組織と共同事務局、地域組織をもって構成されています。汎青学連の中央組織には汎青学連総会、中央委員会、共同議長団があります。汎青学連は北と南、海外にそれぞれ地域本部を設けています。

71．新たな民族大団結路線及び方針はどうして提起されたのですか？

共和国の主動的な提案と真摯な努力によって、1990年９月から北南高位級会談が開かれ、平壌とソウル、海外において政界及び社会各界の人士、スポーツ関係者、芸術家ら各階層の同胞たちが対話を行い統一祭典を開催しました。

金日成主席は1991年の新年の辞で、祖国統一の歴史的偉業を促すべく、朝鮮半島の平和を保障し、祖国統一の平和的前提をつくりだす問題に関する朝鮮労働党の原則的な立場を再び明らかにし、祖国統一の方途についての全民族的合意をなし、全民族の大団結を実現しようとの画期的な統一方案を提起しました。

主席は、1991年８月、祖国平和統一委員会の責任幹部、祖国統一汎民族連合北側本部メンバーとの談話『わが民族の大団結を成し遂げよう』で、民族大団結の路線及び方針を新たに打ち出しました。

72．北と南の間にどんな合意文が採択されたのですか？

1991年12月、第５回北南高位級会談では「北南間の和解と不可侵及び協力・交流に関する合意書」が採択され、続けて核問題を協議するための３回の北南代表接触を経て「朝鮮半島の非核化に関する共同宣言」が発表されました。

７・４北南共同声明の発表後初めての民族共同の合意文が採択された結果、北と南の間には政治、軍

事、経済、文化など各方面で協議を深めていく基盤が構築され、相互の信頼と民族的団結を図り、祖国の統一に有利な局面を開く現実的な可能性が醸し出されました。

特に、北と南が不可侵を確約し、朝鮮半島の核問題を解決するための共同の意志を確認することによって、当面の緊張状態を解消して核戦争の危険を防ぎ、強固な平和を築く突破口が開かれることになりました。

73. 全民族大団結10大綱領はどのようにして提示されたのですか？

金日成主席は、1993年４月、民族の団結した力で祖国統一の前途を開くべく、「祖国統一のための全民族大団結10大綱領」を提示しました。

主席は、全民族大団結10大綱領において、民族大団結の総体的目標と理念的基礎、民族大団結の原則と方途を全面的に示しました。

全民族大団結10大綱領には、思想と理念、体制の違いを超越して全民族が一つに強く団結し、5000年の悠久の歴史を持つ朝鮮民族の統一と繁栄を遂げ

ようという7000万同胞の崇高な悲願が具現されています。

74. 全民族大団結10大綱領の基本的な内容はどんなものですか？

1.全民族の大団結によって、自主、平和、中立の統一国家を創立すべきである。

2.民族愛と民族自主精神に基づいて団結すべきである。

3.共存、共栄、共利を図り、祖国統一偉業にすべてを服従させる原則の下に団結すべきである。

4.同族間の分裂と対決を助長する一切の政争を中止して団結すべきである。

5.北侵と南侵、勝共と赤化の危惧をともに解消し、互いに信頼し団結すべきである。

6.民主主義を貴び、主義主張の違いを理由に排斥することなく、祖国統一の道でともに手を取り合って進むべきである。

7.個人または団体所有の物質的・精神的財貨を保護し、それを民族の大団結を図るのに有利に利用することを奨励すべきである。

８. 接触、往来、対話を通じて全民族が互いに理解し信頼し、団結すべきである。

９. 祖国統一をめざす道で、北と南、海外の全民族は相互の連帯を強めるべきである。

10. 民族の大団結と祖国統一の偉業に貢献した人を高く評価すべきである。

75. 全民族大団結10大綱領はどうして誰にも受け入れられる綱領ですか？

全民族大団結10大綱領は、自主、平和、中立の汎民族統一国家の創立を総体的目標として提示し、民族愛と民族自主精神を団結の理念的基礎に、共存、共栄、共利を図り、統一偉業にすべてを服従させることを団結の基本的原則として規定しています。

綱領には、一切の政争を中止し、北侵と南侵、勝共と赤化の危惧をともに解消し、互いに信頼し団結する問題、統一前は言うに及ばず統一後にも国家的所有、協同的所有、私的所有を認め保護する問題、民族の大団結と祖国の統一に功を立てた人、愛国烈士とその子孫に特恵を施し、かつて民族を裏切った者であっても、過去を反省し愛国の道に立つならこ

れを赦し、祖国の統一に寄与した人たちを功労によって公正に評価する問題など、民族の和合と統一を果たそうとする朝鮮民族すべての意思と悲願がそのまま反映されています。

76．朝米共同声明の基本的な内容はどんなものですか？

朝鮮半島の「核危機」と関連して、1993年６月２日から11日まで、ニューヨークで行われた朝米間の政府級第１ラウンド会談で採択された朝米共同声明の基本的な内容は次の通りです。

・核兵器を含む武力を使用せず、かかる武力をもって威嚇もしないことを担保する。

・全面的な担保適用の公正さを含めて、朝鮮半島の非核化及び平和と安全を保障し、相手側の自主権を相互尊重し、内政に干渉しない。

朝鮮の平和的統一を支持する。

77．朝米基本合意文の基本的な内容はどんなものですか？

「朝鮮民主主義人民共和国とアメリカ合衆国間

の基本合意文」は、アメリカの使嗾を受けた国際原子力機関の「核査察」「特別査察」騒ぎによって、朝鮮半島の情勢が戦争瀬戸際に至った1993年６月からほぼ１年半にわたる朝米会談の結果、1994年10月に発表されました。

基本合意文によると、アメリカは2003年まで総200万kW発電能力の軽水炉発電所を朝鮮に提供する措置を責任を持って取り、第１号軽水炉発電所が完工するまで熱及び電気の生産用重油を毎年50万tのレベルで納入します。

これに対するアメリカの担保を受ければ、朝鮮は黒鉛減速炉と関連施設を凍結し、その監視を国際原子力機関に許容します。

双方は政治・経済関係の完全な正常化へと進み、基本合意文の署名後３カ月以内に通信サービスと金融決済に対する制限措置の解消を含む貿易と投資の壁を緩和し、当該問題が解決していくに従い、相互が相手側の首都に連絡事務所を開設し、やがては両国関係を大使級に昇格させます。

アメリカは核兵器の使用と威嚇を行わないという公式担保を朝鮮に提供し、朝鮮は朝鮮半島

の非核化に関する北南共同宣言の履行措置を取り、対話の雰囲気が醸成されれば北南対話を行います。

基本合意文は最後に、双方は国際的な核拡散防止体系の強化をめざして共同の努力を行うと指摘しています。

アメリカ大統領は、金正日（キムジョンイル）総書記に1994年10月20日付けの朝米担保書簡を送り、基本合意文を確実に履行すると確言しました。

78. 北南最高位級会談はどう準備されたのですか？

金日成主席は全民族の祖国統一念願を一日も早く実現すべく、北南最高位級会談の開催対策を講じました。

こうして北南は、1994年７月25日から北南最高位級会談を平壌で開くことを合意しました。

北南最高位級会談に向けて不眠不休の毎日を送っていた金日成主席は、７月７日、会談に関する重大文書を決裁しました。ところが、その翌1994年７月８日早朝、思いもかけず急病で逝去しました。

79．北南関係が再び悪化した理由は何ですか？

南朝鮮傀儡一味は、同族のこの不慮の出来事を政治的に悪用して、北南間の不信と対決を助長し、外部勢力と結んで朝鮮半島の情勢を急激に悪化させました。そうして民族の和解と統一に向けて有利に動いていた朝鮮半島の情勢は再び対決状態へと逆転してしまいました。

80．祖国統一の３大憲章はどのようにして定立したのですか？

金正日総書記は、1997年８月４日、著作『偉大な領袖金日成同志の祖国統一遺訓をあくまで貫こう』を発表しました。

総書記はここで、金日成主席が生涯をかけて祖国の統一偉業に積んだ不滅の業績を全一的に体系化し、集大成して、祖国統一３大原則と全民族大団結10大綱領、高麗民主連邦共和国創立方案を祖国統一の３大憲章として定立し、これを統一を念願する全朝鮮民族が堅持すべき綱領的指針として提示しました。

祖国統一の３大憲章は朝鮮の現実的条件と統一

を渇望する朝鮮民族の一致した志向と要求を反映しており、祖国統一の根本的原則と統一の主体的勢力の問題、統一の方式と方途、連邦国家の運営方式と施政方針など統一国家の全貌に至るまで、祖国の統一を実現するためのすべての問題を全一的に体系化したもので、名実ともに完成された統一憲章です。

81. 民族大団結５大方針はどのようにして提示されたのですか？

金正日総書記は1998年４月、歴史的な南北朝鮮政党・社会団体代表者連席会議50周年記念中央研究討論会に送った書簡**『全民族が大団結して祖国の自主的平和統一を成し遂げよう』**で、金日成主席の民族団結に関する思想と業績、豊かな経験と伝統を守り継承して民族の大団結を成就し、必ずや祖国の統一を実現しようという確固とした決心と意志が具現された民族大団結５大方針を提示しました。

総書記が提示した民族大団結５大方針は、民族自主の原則を堅持して愛国愛族の旗、祖国統一の旗の下に団結し、北南関係を改善し、外部勢力の支配と反統一勢力に反対して闘い、全民族が互いに接触、

往来し、対話を発展させ、連帯・連合を強めるという内容からなっています。

82．歴史的な北南最高位級会談はどのようにして開かれたのですか？

海内外の全同胞が金日成主席の祖国統一３大憲章と、金正日総書記の民族大団結５大方針の旗の下に、民族の団結と祖国の統一をめざす大行進に拍車をかけていた当時の2000年６月13日から６月15日まで、平壌では歴史的な北南最高位級会談が開かれました。

朝鮮民主主義人民共和国の金正日国防委員長と南朝鮮の金大中（キムデジュン）大統領との対面と会談の結果、国の統一問題を、その主人である朝鮮民族同士が互いに力を合わせて自主的に解決していく問題をはじめ、北南関係を発展させ、国の統一を成就する上での諸般の原則的な問題がこめられた6・15北南共同宣言が発表されました。

83．6・15北南共同宣言の内容はどんなものですか？

１. 北と南は、国の統一問題を、その主人である

わが民族同士が、互いに力を合わせて自主的に解決することにした。

２.北と南は、国の統一のための、北側の低い段階の連邦制案と、南側の連合制案が、互いに共通性があると認め、今後、この方向で統一を志向することにした。

３.北と南は、今年の8・15に際して、離散家族・親戚訪問団を交換し、非転向長期囚問題を解決するなど、人道的問題を早急に解決することにした。

４.北と南は、経済協力によって民族経済を均衡的に発展させ、社会、文化、スポーツ、保健、環境など各分野の協力と交流を活性化し、相互間の信頼を構築していくことにした。

５.北と南は、以上の合意事項を早急に実践に移すため、近い内に当局間の対話を開催することにした。

84. 6・15北南共同宣言の根本の核は何ですか？

6・15北南共同宣言の根本の核は、「わが民族同士」の理念です。

換言すれば、朝鮮分断の張本人であり統一の根本的障害である外部勢力を排除し、朝鮮民族同士が互

いに力を合わせて自主的に、民族の統一と団結、共同繁栄の道を開いていこうというのが6・15北南共同宣言の基本的な精神です。

85．6・15北南共同宣言を通じて合意した統一方式はどんなものですか？

北南共同宣言は、祖国統一３大原則の核である民族自主の精神、つまり「わが民族同士」の理念に従い、統一方式に対する全民族的な合意を最高位級の間でなすことによって、統一運動の新しい時代を開きました。

6・15共同宣言を通じて北と南は、国の統一を図る北側の低い段階の連邦制案と南側の連合制案が互いに共通点があると認め、今後この方向で統一を志向させていくことを合意しました。

これは、不信と対決の悪循環を繰り返してきた民族の分裂史上、北と南が初めて合意した民族共同の統一方式です。

86．6・15北南共同宣言はどんな意義を持つのですか？

6・15北南共同宣言は、祖国統一３大原則に基

づく自主、平和統一、民族大団結の宣言です。
　6・15北南共同宣言の核である「わが民族同士」の理念には、ほかならぬ透徹した自主精神と平和を守る意志、民族大団結の精神がこもっています。
　北南共同宣言の誕生によって、朝鮮民族は国の統一偉業を実現する最も現実的な幅の広い道を照らす統一の里程標を持つことになりました。

87. 6・15統一時代はどんな時代ですか？

　6・15共同宣言の採択以来、朝鮮半島ではそれまで想像すらできなかった新時代が開かれ始めました。
　政治、経済、文化、軍事など各分野で、北と南の対話と協商が進められ、分断されていた北と南の鉄道と道路が結ばれ、経済協力事業が活発に行われました。
　世界はとりわけ、スポーツ分野を通して朝鮮民族の統一意志を実感することになりました。
　6・15北南共同宣言が採択された直後の2000年9月、シドニー・オリンピックの入場式では、北と南の選手団が統一旗を先頭にして共同入場し、世界の歓呼を受けました。
　北と南の離散家族・親戚の対面が相次いで行われ

るなど、北と南の人道主義的な協力活動が広く行われました。

以前には想像すらできなかったこのような現実は、ほかならぬ6・15共同宣言の結実であり、巷間では「6・15統一時代」と呼ばれるようになりました。

88. 北南間の10・4宣言はどのようにして出されたのですか？

2007年10月２日から４日まで、平壌では金正日総書記と南朝鮮の盧武鉉（ロムヒョン）大統領の対面と会談が行われました。

その結果、10月４日、北南首脳が署名した「北南関係の発展と平和・繁栄のための宣言」が発表されました。これを一名「10・4宣言」と言います。

89. 10・4宣言の基本的な内容はどんなものですか？

「北南関係の発展と平和・繁栄のための宣言」は、北と南が、第１に、6・15共同宣言を固守し、積極的に具現していく、第２に、思想と体制の違いを超越して、北南関係を相互尊重と信頼の関係に確固と

転換させていく、第３に、軍事的敵対関係を終息させ、朝鮮半島において緊張緩和と平和を確保するため緊密に協力する、第４に、現在の停戦体制を終息させ、恒久的な平和体制を構築していかなければならないということで認識をともにし、直接に関連している３者または４者の首脳が朝鮮半島地域で会合し、終戦を宣言する問題を推進するために協力する、第５に、民族経済の均衡のとれた発展と共同の繁栄のために、経済協力事業を共利・共栄と有無相通じる原則に立って積極的に活性化し、持続的に拡大発展させていく、第６に、民族の悠久の歴史とすぐれた文化を輝かせるため、歴史、言語、教育、科学技術、文化・芸術、スポーツなど、社会文化分野の交流と協力を発展させていく、第７に、人道主義協力事業を積極的に推進する、第８に、国際舞台で、民族の利益と海外同胞の権利と利益のための協力を強めていくという内容からなっています。

90. 10・4宣言が6・15共同宣言の実践綱領となる理由は何ですか？

「北南関係の発展と平和・繁栄のための宣言」は、

祖国統一３大憲章の民族大団結の思想を全面的に具現した、北南関係の発展と民族の平和、民族共同の繁栄を図る包括的な合意を最高位級でなした民族団結の実践綱領です。

それは、この宣言に、北南関係を統一志向的に発展させていく法律的・制度的装置の問題、軍事的敵対関係の終息と朝鮮半島の緊張緩和と平和保障の問題、停戦体制の終息と恒久的な平和体制の構築問題、民族経済の均衡のとれた発展と共同の繁栄のための経済協力問題、民族文化の発展問題、人道主義協力と海外同胞の権益を守る問題など、民族大団結を達成する上で当面持ち上がっている実践的諸問題がすべて明示されているからです。

91. 統一と関連した記念碑にはどんなものがあるのですか？

朝鮮人民は去る70余年間、統一をめざして粘り強く取り組んできました。

そうした中で朝鮮には、統一を望む朝鮮民族の念願をこめた、種々の記念碑が建立されました。

その中には、統一戦線塔、祖国統一親筆碑、

祖国統一３大憲章記念塔などがあります。

92．統一戦線塔はどんな塔ですか？

　統一戦線塔は、金日成主席の提言と指導の下に1948年４月、平壌で行われた南北朝鮮諸政党・社会団体代表者連席会議を記念して建立されました。

　塔は、連席会議の終了後、主席が連席会議の指導部メンバーと協議会を開いた平壌大同（テドン）江の中州スク島に建てられたもので、連席会議に56の北と南の政党、社会団体が参加したことを象徴して56枚の花崗岩をもって構成されています。

　塔の前面には金日成主席の教示が刻まれています。

　「わが民族の歴史上、政見が互いに異なる数多くの政党、社会団体の代表が一堂に会し、祖国と民族の運命について論議し、見解の一致を見たことはかつてありませんでした。南北連席会議はわが民族の歴史上国土の保全と民族統一の旗印の下に、各階層の愛国的人士を結集させた偉大な会合として永遠に記録されることでしょう」

93．祖国統一親筆碑はどんな碑ですか？

祖国統一親筆碑は、朝鮮半島を北と南に分断した軍事境界線上の板門店に立っています。

朝鮮半島が分断された時から数十年間、数多の統一方案を提示し、全朝鮮民族を統一をめざす闘いへと導いた金日成主席は、逝去（1994．7.8）前日も北南最高位級会談に関わる重要文書に目を通し、「**金日成　1994．7．7**」という生涯最後の親筆を残しました。

朝鮮人民は、民族分裂の悲劇を解消し、祖国統一聖業を成就するための歴史的文書に、生涯の最後の親筆署名を残した主席の愛国愛族の崇高な志を子孫万代に伝えるべく、全長9.4m、長さ7.7mの花崗岩の板に主席の親筆を刻んだ祖国統一親筆碑を建立しました。

94. 祖国統一３大憲章記念塔はどんな塔ですか？

金日成主席が提示し､金正日総書記が定立した祖国統一３大憲章の旗の下、統一の実現をめざして進む朝鮮人民の不動の意志を象徴する祖国統一３大憲章記念塔は、平壌市統一（トンイル）通りの入り口に立っています。

記念塔は、2000年に行われた北南首脳の歴史的対面と、6・15北南共同宣言の採択によって「わが民族同士」の統一時代が到来し始めた2001年８月に建立されました。

記念塔は、花崗岩造りで、民族衣装をまとった北と南の２人の女性が、３大憲章マークを高く支えている形式のもので、アーチ模様の塔身と、副テーマ群像がレリーフされた台座からなっています。祖国統一３大憲章と6・15北南共同宣言を象徴して30mの高さと61.5mの幅を持った塔身の下部には大通路があり、それは朝鮮統一の活路がどのように開かれているかを象徴的に見せています。

記念塔の重さは、7000万朝鮮民族の統一念願が反映された7000ｔであり、記念石展示ルームの扉は、北、南、海外の３者が連帯した力で統一の扉を開こうとの意味をこめて３tの重さに造られています。

95. 朝鮮統一問題の本質はどのようなものですか？

朝鮮の統一問題はまず、全国的な範囲で外部勢力の支配と干渉に終止符を打ち、民族の自主権を確立する問題です。

民族的自主権は、各民族にとって死活的な問題です。

朝鮮における民族的自主権の問題は、帝国主義者に奪われた領土と人民を取り戻し、全国的な範囲で民族的自主権を確立する問題です。これは、南朝鮮がアメリカの軍事的占領と植民地支配下にあることと関わっています。

朝鮮の統一問題はまた、北と南の間の不信と対立を解消し、民族の団結を達成する問題です。

分断後70余年間、北と南の間には誤解と不信が生まれ、対決が増大しました。

アメリカと南朝鮮傀儡一味の反北対決政策により、一つの血筋を引いてきた朝鮮民族の団結は果たせませんでした。朝鮮の統一問題は決して、北と南の間の支配と従属に関する問題ではなく、北と南の不信と対立を解消し、民族の団結を成就する問題です。

96. 朝鮮の統一問題はいかなる性格のものですか？

朝鮮の統一問題はあくまでも朝鮮民族の内部問題であり、朝鮮人民自身が解決すべき内政問題です。

朝鮮民族は過去、侵略戦争を行って敗北し、分断されていた国の民族とは異なり、帝国主義の植民地支配

の下で抑圧を受け、これと戦って占領軍を駆逐し、解放を勝ち取った民族です。したがって朝鮮問題は、第２次世界大戦が終わった際、国際的な調停を受けるべきいかなる理由も根拠もなかった問題です。

　朝鮮人民は朝鮮のれっきとした主人として、自国の問題を解決する権利を持っているばかりでなく、第三者の干渉を受けることなく、統一問題を自らの力で十分に解決しうる条件と可能性を十分に備えています。

　朝鮮の統一問題が民族の内部問題、民族の内政問題であるのは、さらに、この問題が一つの民族、一つの国家の枠内でのみ解決しうる問題であるからです。

　朝鮮の統一問題は、多民族が統一国家を形成する問題とは性格を異にしています。多民族によって成り立っている国における国家的統一は、民族の統一ではなく、異なる民族の連合としてなされます。

　したがって、これらの国における統一問題は、民族の内部問題としてではなく、民族相互間の問題として提起されるのです。

　しかし朝鮮の統一問題は、本来一つの民族、一つの国家であったものが再び一つに結合する問題で

あって、民族間または国家間の問題ではありません。
　したがって朝鮮の統一問題には、誰にも干渉し介入する権利がなく、そうすべき理由も条件もありません。

97. 朝鮮の統一が緊要だとされる理由は何ですか？

　朝鮮の統一はまず、国の分断によって朝鮮民族がなめているすべての不幸と苦痛をぬぐい去るためにも、一日も早く実現しなければなりません。
　分断による朝鮮民族の苦痛は、たとえようもなく大きいです。朝鮮人であれば、それがどの階級、どの階層の人であれ、北にいようが、南にいようが、海外にいようが民族分断の苦痛と悲運に悩まされていない人はいません。
　北と南の数百万の家族・親戚が離散して数十年、互いに生死のほども知らずに、もどかしい歳月を送っています。
　朝鮮の統一はまた、朝鮮民族の統一的発展と隆盛・繁栄を図るためにも一日も早く実現しなければなりません。
　朝鮮の分断は、北と南の人的資源と天然資源を国の統一的な発展に合理的に活用することを妨げています。

アメリカの南朝鮮占領と国土の両断は、北南間のすべての連係を断ち切り、全朝鮮社会の統一的な発展に大きな障害となっています。

朝鮮の統一は、朝鮮民族が戦争の危険と惨禍から解き放されるためにも即時実現しなければなりません。

アメリカと南朝鮮傀儡一味は、反北対決政策にのっとって戦争政策を狂乱的に推し進めており、兵力を大々的に増強し、北侵をもくろむ戦争演習を絶えず強行しています。

こうして朝鮮半島における対決と緊張、戦争の危険はいつまでも解消できずにいるのです。

98. 朝鮮統一の必然性は何ですか？

朝鮮統一の必然性は、第1に、外部勢力の支配と干渉に終止符を打ち、分断された祖国を統一することが全朝鮮人民の志向であり、要求であるからです。

第２に、国の統一が単一民族としての朝鮮民族の統一的発展における合法則的な要請であるからです。

第３に、民族の完全な解放と統一・独立国家の形成が、支配と従属に反対し、自主性を志向する現時代の根本的な要請であるからです。

99．朝鮮労働党第７回大会で提示された祖国統一方針はどんなものですか？

金正恩（キムジョンウン）委員長は、2016年５月に開かれた朝鮮労働党第7回大会で行った中央委員会活動報告で、次のように述べています。

「民族自主と民族の大団結、平和の保障と連邦制の実現、これは祖国統一の３大憲章を貫徹して祖国統一の道を切り開くためのわが党の闘争方針です。われわれは民族自主の旗印、民族大団結の旗印を高く掲げて、朝鮮半島の恒久平和を保障し、連邦制方式の統一を実現するために極力努力することによって、全民族が願ってやまない自主的で繁栄する統一強国を一日も早く打ち立てなければなりません。」

100．朝鮮の統一を実現する上で焦眉の問題は何ですか？

今日、朝鮮の自主的統一を実現する上で焦眉の問題は、北南関係を根本的に改善することです。北と南は互いに相手側を尊重し、統一の同伴者として手を取り合って北南関係の改善と祖国統一運動の新たなページを切り開かなければなりません。北と南は軍事的緊

張を緩和し、すべての問題を対話と協商の方法で解決しなければなりません。北南関係を改善し、祖国統一の活路を切り開くためには、民族共同の合意を尊重し、一貫して履行しなければなりません。

朝鮮の分断に関連のある国と周辺諸国は、北南間の不信と対決をあおり立てるのではなく、朝鮮の統一に助けとなることをしなければなりません。朝鮮民族を二分した張本人であり、統一の主たる妨害者であるアメリカは、反共和国制裁・圧殺策動を中止し、南朝鮮当局を同族対決へとあおり立ててはならず、朝鮮半島問題から手を引かなければなりません。日本は朝鮮半島に対する再侵略の野望を捨て、朝鮮民族に犯した過去の罪悪について反省し謝罪すべきであり、朝鮮の統一を妨害してはなりません。周辺諸国は共和国の自主権を尊重し、朝鮮の統一問題が朝鮮民族の要求と意思に即して自主的に、平和的に解決されるようにする上で肯定的な役割を果たさなければなりません。

朝鮮豆知識(10)
(祖国統一)

総編集	金志豪
執　筆	金日峰
翻　訳	金竜一　金恵玉
レイアウト	方成姫　趙鮮香
イラスト	金恩正
発行所	外国文出版社
発　行	チュチェ106(2017)年８月

ㄱ-7835060

E-mail：flph@star-co.net.kp

http：//www.korean-books.com.kp